

No. 513

世帯数 101,420 (550)



水も限りある資源

水道は心して使いましょう

「蛇口をひねれば、いつでも安心して必要なだけの水が使える」——この便利さと安全性がかえって水に対する価値観をうすめ、「たかが水ぐらい」といった安易な考え方を私たちに持たせるのかもしれない。

しかし、私たちの家に送ら

自由にはいだけ水を使えるようになっていゝのです。

しかも、その水は有限です。地下水を含め、河川や湖沼など私たちのまわりにある真水（淡水）は地球全体の水のわずか0・8%にすぎません。

地球上の水は、海や川から蒸発して雲となり、雨や雪とな

両取水場、木津川などから水を取っていますが、去る昭和五十三年夏には奈良地方気象台開設以来の最少雨量を記録し、そのため市の水道も異常渇水に見舞われました。この時には節水を呼びかけるほか、一部地域で夜間断水を実施するなどの異例の措置がとられました。今後このような異常天候による水不足が起らないとは限りません。私たちは常に水は限りある資源であることを認識し、ふだんからの節水こそが、有効な貯水であることを忘れず、水を大切に使うよう心がけましょう。

布目ダムは総貯水量が千七百三十万立方メートル（須川ダムの約二十二倍）で、このダムが完成すると、奈良市は日量七万六千立方メートルの水道用水を得ることが決定しています。これで、現在の約十五万四千立方メートルの水源能力が二十三万立方メートルとなり、三十五万人に給

完成すれば水道水源は23万ト
35万人給水が大丈夫
早期完成めざしダム建設着工へ
布目ダム

大丈夫

ム建設着工へ

現在すでに、工事用進入道路工事の一部が完了していましたが、今回の要結により、今

これに伴い、市でもダム周辺地域に対し、水源地域整備事業をはじめ準備事業をはかるとともに、水没者の代替地利子補給など種々の地元対策を進めてきましたが、今後とも積極的に取り組むことにしています。

他人のめい
わくになる
青空駐車は
やめましよ
う

議長 森本氏 副議長 橋本氏

五月臨時市議会で選任

和四十五年度から予備的調査が開始され、ついで昭和五十年からダム建設を前提とした実施計画調査が行われました。

そして、この一年にわたる地もとの話し合いが進められ、その結果、ダム建設により水没する農地・山林などの補償交渉が住民の理解と協力を得て、柳生地区は三月二十

去る四月二十四日の統一地方選挙で選ばれた新議員による奈良市議会五月臨時会は、議会の組織関係案件を中心として五月十四日に開会され、十七日の本会議で議長に森本三郎氏、また十九日の本会議で副議長に橋本和信氏をそれぞれ選任しました。

また議会常任委員会委員をはじめ議会運営委員、議会選

森本三郎氏



昭和四十六年四月、市議会初当選

橋本和信氏



昭和四十六年四月、市議会初当選以来四期

奈良国際文化観光都市建設審議会委員、庁舎建設調査特別委員会委員、経済水道委員会・教育厚生委員会副委員長などを歴任。

明治四十年十二月十七日生まれ。七十五歳。現住所は市

目。市議会の企画建設委員会
・議会運営委員会各委員長の
ほか監査委員・副議長等を歴
任。昭和十年四月二十日生ま
れの四十八歳。現住所は市内
佐紀中町一丁目二四七五。

就任ごあいさつ

奈良市議会議長 森本三郎

このたびの市議会五月臨時会におきまして、不肖私が奈良市議会議長、橋本和信君が副議長の要職にそれぞれ推挙を受け、その重責を担うことになりました。

先の統一地方選挙で、市民の皆様方の信託を受けました私共四十四名の議員は、自らを謙虚にし、市政の意思決定機関の一員としてその責務を自覚し、議会制民主主義の原点にたち返り、その推進に努めねばならないと思料いたすものであります。私はこうした観点に立ち、副議長始め同僚議員の協力を得て、これから

の議会運営に邁進（まいしん）する所存でございます。さて、今日の地方自治を取り巻く環境は、一九八〇年代当初に華々しく喧伝（けんでん）された「地方の時代」も、自主々体的ななものも確立されないうちに、我が国の、あるいは世界経済の状況悪化にともない、現在では地方自治体の財政は倒産の危機に瀕（ひん）しているという主張もある程、まさに底冷えの様相を呈しております。こうした時代背景のもと、奈良市においても、これからの行財政は非常に至難な時期を迎

つといたします。

市民皆様のなご一層のご支援、ご鞭撻（べんたつ）をお願い申し上げます。ご健康を祈念し、ごあいさついたします。

出監査委員、北和都市連合交通災害共済組合議会議員、農業委員会の委員をそれぞれ第七年度予算の翌年度への繰

改正

◇市長専決処分の報告―五十
◇工事請負契約の締結（原案
同意）

◇市長専決処分^{（一）}の報告ならびに承認を求める件（原案承認）―五十七年度一般会計補正予算▽市税条例の一部改正

◇工事請負契約の締結（原案同意）

※ 定価630 毎月1日・15日発行

発行—奈良市役所広報公聴課(奈良市二条大路南1丁目1番1号) 電話(34)1111番 平630 毎月1日・15日発行 全戸配布

印刷—共同 精版印刷KK

市民参加の施政へ

市政モニターら95氏を委嘱

市では、「市民とともに歩む個性豊かな市政の推進」をめざし、昭和五十六年度から市政モニター、ママさん特派員、消費者モニターの制度をとり入れてきました。今年度も新しく両モニターとママさん特派員を委嘱し、その合同委嘱式が五月十九日市役所正庁で行われました。

市政モニターは、市政に対する市民の率直な意見や要望を行政に反映させるためのもので五十人、ママさん特派員は、主婦の目での諸施策を取材し、その記事を「市民だより」に掲載するもので五人、消費者モニターは、市内の生活関連物資の価格動向をはじめ、日常の消費生活の実感を情報として市に提供してもらうもので四十人。いずれも新しい感覚で来年三月まで活躍してもらいます。

この日委嘱を受けた市政モニター、ママさん特派員、消費者モニターはつぎの人たちです。(順不同・敬称略)

市政モニター

米田政雄(窪之庄町)▽内田三雄(中登美ヶ丘一丁目)▽宝来茂(手井町)▽松本武文(中江町)▽土井スエノ(今井町)▽奥田喜美代(北橋尾町)▽阪下美恵子(虚空蔵町)▽西岡美佐子(学園南二丁目)▽嶋田せい(秋篠町)▽竹西長士(中之庄町)▽河合健雄(橋本町)▽山本憲司(押上町)▽沢井啓祐(法蓮町)▽清水末子(雑司町)▽中塚倫子(登美ヶ丘四丁目)▽中川章(法蓮町)▽岡本信彦(登美ヶ丘三丁目)▽水木辰之助(学園北二丁目)▽柴田周徹(橋井町)▽佐野匡男(押上町)▽松本弘子(白毫寺町)▽松本弘子

消費者モニター

飯田敏子(阪新屋町)▽石原吉子(法華寺町)▽勝矢陽子(川上町)▽川崎桂子(川上町)▽北田章子(芝辻二丁目)▽木内加代子(法蓮町)▽黒川ナツ(法蓮町)▽小松美子(中御門町)▽新野由美子(油阪町)▽徳田恵子(西木辻町)▽林孝榮(桂木町)▽林東(東包永町)▽町野富久代(大宮町二丁目)▽森政久江(三条町)▽山田美恵(法蓮町)▽石木敏子(北永井町)▽小滝静野(八条町)▽藤本ミドリ(古市町)▽細見道子(東九条町)▽丸山政子(香町)▽森本富志子(香町)▽北原洋子(西大寺新田町)▽出口仁美(七条町)▽長島孝子(若葉台四丁目)▽浅田泰子(学園南三丁目)▽安部知巳(中町)▽磯林好恵(西登美ヶ丘七丁目)▽井上嘉代子(鶴舞西町)▽江島敏子(三三町)▽奥田佳津子(三三町)▽川村雅子(三三町)▽小林和子(あやめ池南三丁目)▽志水恵津子(学園大和町二丁目)▽田中富子(中山西三丁目)▽辻本敏子(二名町)▽中西真紀子(西登美ヶ丘二丁目)▽山田英子(中町)▽石井洋子(山陵町)▽遠藤美代(歌姫町)▽山本康子(西九条町二丁目)

ママさん特派員

井口敦子(二条町二丁目)▽北谷和子(登美ヶ丘六丁目)▽高澤ミエ(山陵町)▽森美代子(西登美ヶ丘一丁目)▽山本康子(西九条町二丁目)

市議会選任の委員など

常任委員会委員

【総務財政】委員長 中西義次▽副委員長 藤原好雄▽委員 松山徳雄、小林照代、東田、福住晴之亮、岡本志郎、森本三郎、森田勝、橋本和信、大西富雄
【経済水道】委員長 松岡博規▽副委員長 今中せつ子▽委員 米澤保、大谷豊、北尾好章、真鍋四郎、小嶋高年、中村誠一、坂本浩志、西村孝春、城本幸夫

消費者モニターへご協力を

食料品店などへお願い
前項のとおり、市では四十人の消費者モニターを委嘱しました。このモニターの仕事のひとつに小売価格調査があります。これは毎月月初旬に、モニター自身が日常利用している小売店で、商品の価格動向、流通状況、販売形態などについて調査を行うもの

林さんから 二百万円

育英資金に寄付



学園大和町五丁目の林清三郎さん(93歳)から五月十日「育英資金」に二百万円の寄付があった。

学園大和町五丁目の林清三郎さん(93歳)から五月十日「育英資金」に二百万円の寄付があった。この寄付は、市ではこれを一条高校に設けられている「林文庫」の図書充実と役立てる予定で、写真も林さん「林文庫」は昭和五十二年六月に林さんからの寄付三百万円をもとに設立され、今回で寄付金は千五百万円にのぼりました。林さんは、このほか昭和五十二年二月以来社会福祉、市庁舎建設、朱雀大路等

【教育厚生】委員長 廣岡宇三郎▽副委員長 花井隆郎▽委員 吉田文彦、樹和彦、石橋守、猪井政之、岡田善次、中村重信、岡崎貞次郎、岩名俊夫、川井恵三
【企画建設】委員長 浅川清一▽副委員長 松石聖一▽委員 岡田晴夫、田中幸夫、衣笠、岡本栄一、山本清、萩田義雄、今西五一、中尾時一、横井健二
【議会運営委員会委員】委員長 浅川清一▽副委員長 城本幸夫▽委員 樹和彦、今中せつ子、東田坦、衣

鼓阪地婦連が 十万円を寄付

地区連合婦人会

鼓阪地区連合婦人会が、五月十九日市役所に木山市長を訪ね、「福祉事業に役立ててほしい」と、チャリティーバザーの収益金十万円を寄付しました。同婦人会では、創設

奈良阪開発地に新町名

青山一ノ九丁目 今月実施

去る三月の定例市議会で、奈良阪開発地の一部に行政町名として「青山一ノ九丁目」の新町名を設定することがきまり、六月一日から実施することになりました。

この区域は、市が去る昭和五十二年から奈良阪開発地として宅地造成事業(開発面積一平方キロ、入居予定二千世帯・六千二百人)を進めてきたもので、開発工事は今年度完了し、来年四月から入居が始まります。

参院選挙の 比例代表制

投票の心得

今回行われる参議院通常選挙から、参議院全国区選挙に比例代表制が導入されます。決して複雑な仕組みではないのでよく理解して大切な一票を投じてください。

市自治連合会 新年度の役員

五月二十四日市役所会議室で

市自治連合会五月定例会が、五月二十四日市役所会議室で開かれ、各地区連合会長三十三人が出席、五十八年度の事業計画などを決定、あわせて

今年度役員をつぎのとおり選任しました。敬称略、カッコ内は地区名
会長 岡崎重治(佐保)▽副会長 坂井利雄(学園南)、平田義一(平城)、楠木重一(大安寺)、福西靖(狭川)▽会計 岡田忠一(精華)▽幹事 中野聡(西大寺北)、興久男(柳生)▽監事 中本弘一(青和)、山田良三(済美)▽相談役 北尾光二(東市)

鼓阪地婦連が 十万円を寄付

地区連合婦人会

鼓阪地区連合婦人会が、五月十九日市役所に木山市長を訪ね、「福祉事業に役立ててほしい」と、チャリティーバザーの収益金十万円を寄付しました。同婦人会では、創設

参議院選挙区選出議員選挙

旧地方区のこと

旧地方区のこと
選挙区選出議員選挙
選挙区選出議員選挙
選挙区選出議員選挙

選挙区選出議員選挙
選挙区選出議員選挙
選挙区選出議員選挙
選挙区選出議員選挙

環境週間の ポスター

入選十八点

市では、六月五日から始まる環境週間にちなんで、「古都奈良の環境を守ろう」をテーマに、市内の小・中学生からポスターを募集しました。が、二百二十五点の応募があり、審査の結果、特選三点、入選六十六点、佳作九点が決まりました。

特選 月十五日
おわびして訂正
号で掲載しました「春の叙熱に輝く人々」の記事中、「六等瑞宝章」受章者となっていました消防功労の山下雅雄氏(古市町、63歳)は、「勲七等瑞宝章」でした。おわびして訂正します。

石川清蔵氏 官選最後の市長

去

元市長の石川清蔵氏が五月十九日、生駒市西松ヶ丘の自宅で老衰のため逝去されました。八十九歳でした。

石川さんは昭和十四年十二月から同二十一年六月まで奈良市助役、引き続き昭和二十一年十一月まで官選最後の市長として終戦直後の市政を担当されました。昭和三十三年には奈良市の有功者表彰を受けられました。

わが国国体まで

秋季大会 499日

夏季大会 465日

全国大会 514日

五月晴れに意気盛ん



30歳以上男子3千の健闘ぶり

国体ひかえ好記録も

第37回 市民体育大会

「友情・健康・奉仕」をスローガンに市と市教育委員会、市体育協会が共催する第三十七回市民体育大会が五月八日、市内五十七会場で開催され、二十六種目に延べ三万五千人の市民が参加、日ごろ鍛えた技と体力を競いました。

五月晴れの絶好のスポーツ日和に恵まれて午前八時から奈良教育大学グラウンドで開会式が挙行されました。佐保小学校鼓笛クラブのバレードのあと、市内中・高校生吹奏楽団の演奏で入場行進に入ります。一条高校舞踏部、白鹿高校ダンス部の両バントワイリングチームを先頭に、選手代表約三千人が会場に整列。

伊丹徳三郎市体育協会長の開会宣言、優勝杯返還、木山市長あいさつなどのあと、浜田敏幸君（奈良工業高校・サ）

万葉の姿に還れ

二千五百人が大清掃

佐保川

「佐保川の清き川原に鳴く千鳥（か）わづ」と二つ忘れかねつと万葉集にうたわれた往時の美しさを、現在の佐保川にのみがえらせようと、今年も佐保川清掃対策委員会（岡嶋重治会長）が五月十五日午前八時半から佐保川大清掃を行いました。この日参加したのは地



五月晴れに住民総出で佐保川を清掃

目を迎えたとあつて参加者は手慣れたもので、草刈り、泥さらえといった作業もスムーズに進み、晴れあがつた空の下木山市長、上田知事も交えて汗だくの大掃除が約三時間。佐保川の姿はすっきりと見違えるばかりに美しくなりました。

端午の節句「楽しむ」

母子家庭招いて遊びや見学

母と子の家

市母子福祉センター「母と子の家」では、例年の通り端午の節句のお祝い行事として五月十五日にローリースケート大会と蒸気機関車館の見学を行いました。

この日参加した母子家庭は六十世帯百五十人で、午前九時に「母と子の家」に集合し、



こいのほりのもと、なごやかな母子家庭のつどい

は高く、各競技で好記録が続出しました。各会場とも熱気のこもる拍手と歓声の中に、男も女も、若年者も年輩者も競技に集中して、市民スポーツの祭典、を盛りあげました。

なごやかな母子家庭のつどい

なごやかな母子家庭のつどい

900人のパレード 市長も街頭に 春の交通安全運動

「春の交通安全運動」が、五月十一日から二十日までの十日間、全国いっせいにくりひろげられました。

少年補導委員四一〇氏委嘱

子どもたちの非行を未然に防ぎ、その健全な育成をはかつて補導活動を行う市少年補導委員の委嘱状交付式と総会が五月九日、奈良市役所正庁で開かれました。昭和五十八年度委嘱の少年補導委員四百十人に藤井市教育長から委嘱状と委員証が交付されました。



「車に気をつけてね」と交通安全を訴える木山市長

「春の交通安全運動」が、五月十一日から二十日までの十日間、全国いっせいにくりひろげられました。

なごやかな母子家庭のつどい

長期シリーズ講座に 人気集中

新機軸の文化財・歴史もの教室など

に伴う地域整備事業の一環として建設されたもので、鉄筋コンクリート二階建て、診察室のほか検査室、レントゲン室、事務室兼薬局などがあり五月二十四日診療を開始。

医師一人が常駐し、休日を除いて毎日診療が行われ、地区住民の健康保持、病氣回復にあたります。

奈良市には、今もなお多くの文化財が、それを取り囲む美しい環境とともに私たちの生活の中に息づいています。市ではこういった貴重な文化遺産やそれらを産み出してきた歴史への学習を通じて、市民に郷土に対する理解と愛情を深めてもらおうとさまざまな講座を開講していますが、五月に入って五十八年度のこれら講座が次々に開講されました。

新自治会長

不称不職

まず十一日には、市中央公民館で、「市民の歴史教室」がオープン、平城京の生い立ちと歴史・文化の学習が始まり、現地学習と講義を交えた三ヵ月六回にわたる勉強で百人が受講。

つづいて十八日には「文化観光講座」が市役所六階正庁で開講、これは百四十人が聴講。来年三月まで十回にわたる講座。

このほか、やや専門的な知識を身につけようとする人に向けて「文化財教室」が十九日市役所第六会議室で開講、

